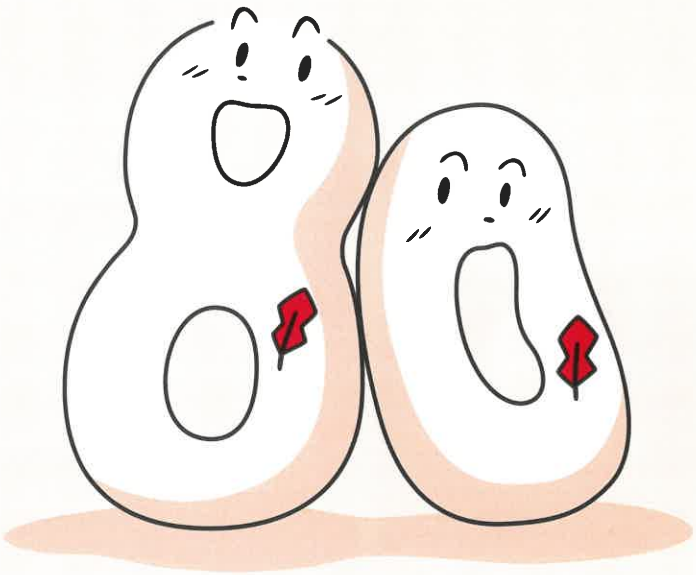


支え合って、80年。

2026年、赤い羽根共同募金は80回目の活動を迎えます。
戦後の生活で困窮していた人。
身寄りがいなかった人。
障がいを抱えながら生きてきた人。
自然の猛威に見舞われた人。
一人ではどうにも解決できずに困っていた人。
その人たちのそばにはいつも、共に乗り越えようと
サポートしてきた人たちがいます。
そして、困っている誰かの助けになればと
気持ちを寄せてくれた皆さまがいます。
ひとり一人の力を合わせ、助け合って、支え合って80年。
助けを待つ人、を支える人に、あたたかな支援を。

八十周年

ありがとう。これからも一緒に。

赤い羽根共同募金

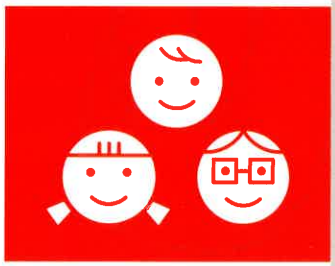
皆様からのご協力をお待ちしております。
募金はお住まいの地域の共同募金会窓口までお持ちください。

お問い合わせ
社会福祉法人 北海道共同募金会 電話 011-231-8000
〒060-0002 札幌市中央区北２条西７丁目 かでる2.7 ４階

北海道の福祉を支える人にはサポートが必要です。

子どもたちや青少年の健全育成のために

子育て中のお母さん、お父さんを応援する活動や、子どもたちが地域で暮らす様々な世代の人たちと触れ合う世代間交流事業のほか、児童養護施設等で暮らす子どもたちへの支援を行っています。



被災者とボランティアを支える活動のために

大規模な災害が起こった際に、被災された人たちとボランティアをつなぐ災害ボランティアセンターの設置・運営支援や、被災した福祉施設の復旧支援等に役立てられています。



お年寄りが安心して暮らせる地域づくりに



一人暮らしのお年寄りのために、ボランティアさんが訪問し、栄養の整った食事を届けたり、地域から孤立をなくすことを目的とした活動等に役立てられています。

障がいのある人たちの社会自立のために



障がいのある人たちの社会参加支援、就労活動に必要な機器の購入、または福祉施設への車両整備等に役立てられています。

地域で活躍するボランティアの育成や研修に



学校で行われる思いやりの心を育てる福祉教育や、地域で福祉の担い手を育てるボランティア研修会等に役立てられています。

計画を立てて目標となる募金額を設定します。



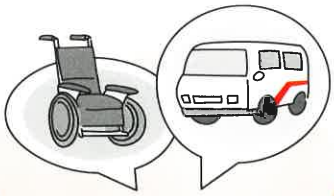
3〜5月　助成計画と目標を立てる

助成計画を立て、要望を実現するために必要な金額を「目標額」として決め、募金活動の準備に取り掛かります。



10/1　募金活動が一斉にスタート

全道各地で10月1日から赤い羽根募金、12月1日から歳末たすけあい募金運動が始まります。



翌年度に向けて　福祉団体から申請を募集

福祉施設や団体、ボランティアから助成が必要な福祉活動の申請を募り、配分委員会等で内容を調査、検討します。



翌年4月　集計後募金は助成先へ

寄付金額を勘案し、助成先と助成金額を決定します。4月に助成金が交付され、道内の福祉活動に使われます。

発行　社会福祉法人 北海道共同募金会　〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目かでる2.7 4階　Tel.011-231-8000　HP www.akaihane-hokkaido.jp